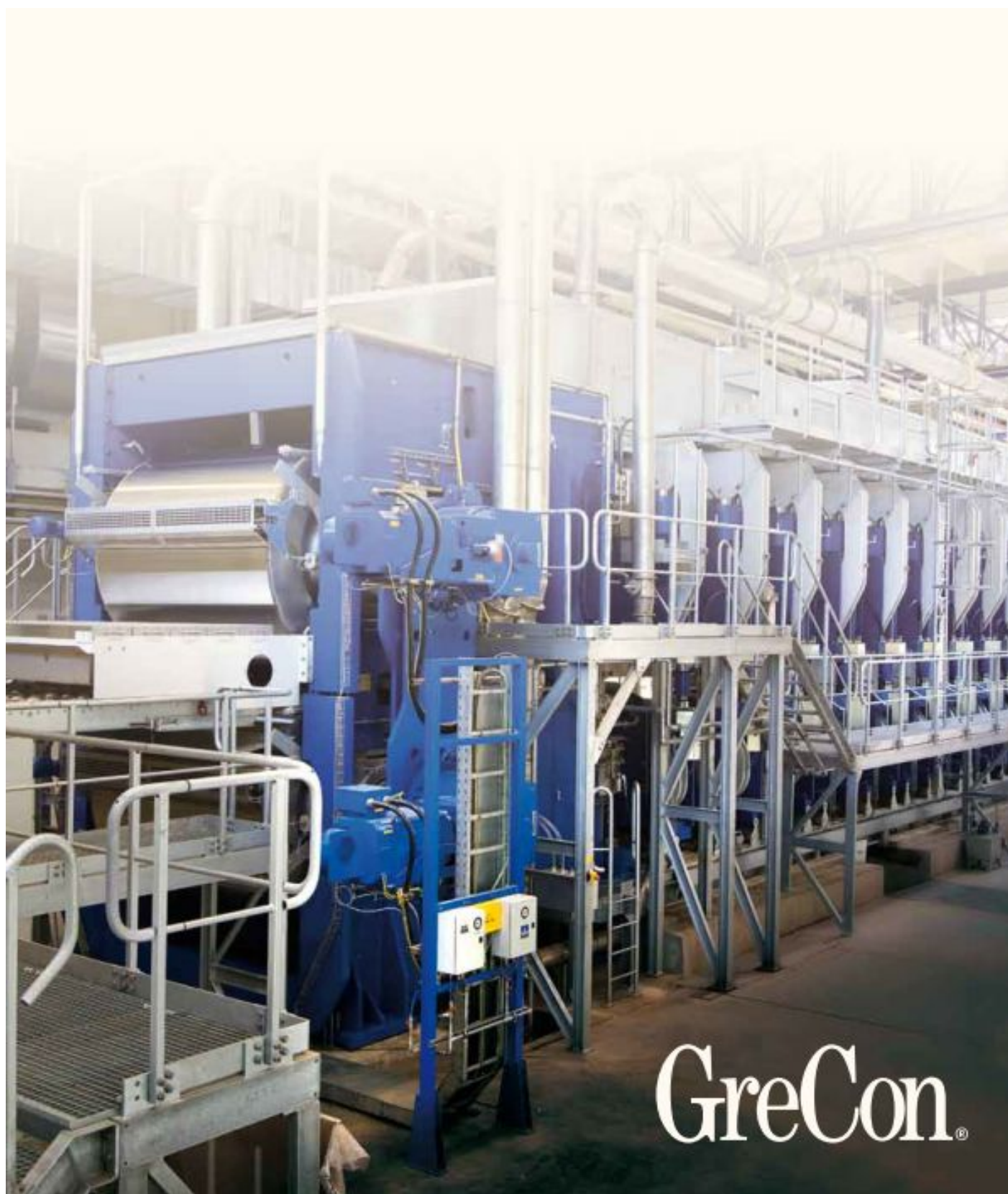


総合プレス消火システム

ホットプレス火災保護の提案



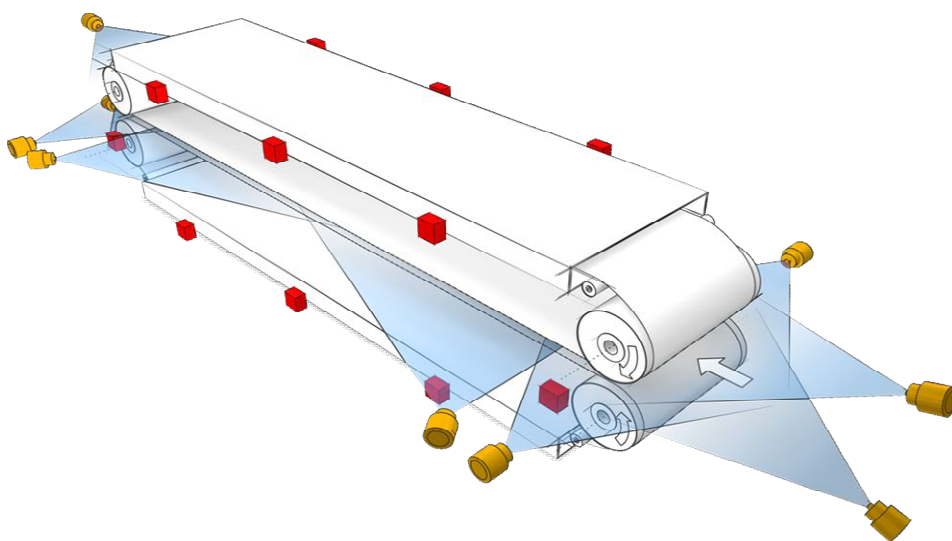
GreCon®

木質系ボードの生産過程において、チップ、ファイバー、接着剤やオイル等の多様な可燃性物質が使用されており、それらは微細な水スプレーシステム等による追加的な予防措置によってのみ制御可能な火災に対する危険因子となっています。

プレス火災に対する現在のシステムでは、主要危険個所での初期炎検知を可能とし、素早く設置された消火装置を危険個所又はプレス全体で稼働させることが可能となります。

通常生産の間、プレス内で火花を検知した場合には、最低限検知した場所での直接消火が必要となります。また、発生した炎はプレス内で素早く燃え広がるため、自動消火システムを使用することによって、素早い消火活動が行えます。

GreCon 炎検知消火システムは自動消火、マニュアル消火の両方に対応しており、設置施設に応じて選択することも可能です。また、マニュアル消火を行う場合でも、どこのセンサーが反応したかを表示することができるため、火災が起こった場所への直接消火が可能となります。



総合火災保護コンセプト

GreCon 製火花検知消火システムを使用し、消火装置作動情報を分析することによって、消火処置への対策が素早くとれます。また、まだ業界では広く認識されていませんが、プレスの入り側/出側ダクトでの火花検知センサーを使用することによって、素早い火災への

リスク検知及び火災の早期発見が可能となります。このように集塵パイプに火花検知センサーを設置している場合、プレスオペレーターのレポートによるとプレスで火災が起こる数分前にパイプ内部の火花が検知されています。

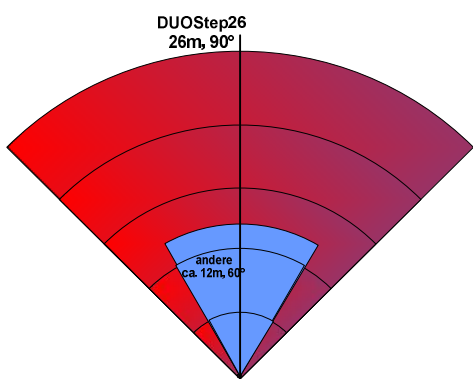
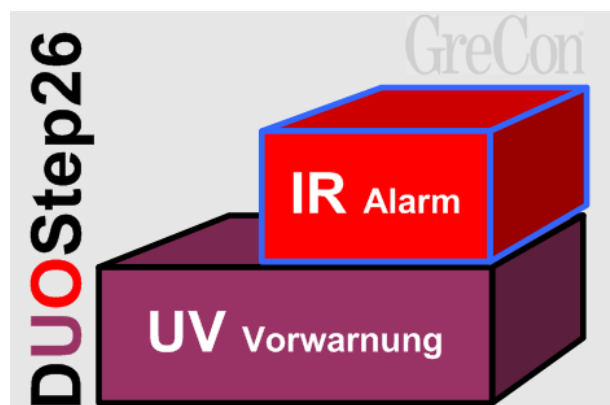
火災を事前検知することによって、必要となる消火水量も激減します。使用水量の減少は、火災から消火後の通常生産までの必要復旧時間の減少を意味します。また、GreCon 製消火機能付き火災警報システムにより、プレスにおける消火活動を自動的又は手動で起動させることもできます。



マニュアルプッシュボタン

DuoStep 26

GreCon 製火災検知装置の設置により、DuoStep26 を取り入れることによる火災リスクの早期発見の有効性を証明しました。オペレーターが初期情報を得ることにより、手動対応が可能です。その上、2つの異なる炎検知範囲による監視による火災監視システムは、誤報を防ぎ誤消火（散水）を防ぎます。この炎検知センサーの検知角は 90° であり、検知距離は 25m を上回ります。そのため、センサーはプレスに向かって設置し、メンテナンス回数を減らすように設置する必要があります。



Eco-Clean

非常にエネルギー効率のよいクリーニングシステムを装備しており、圧縮空気を使用することなく、センサーの光学レンズを油や蒸気からの汚れを防ぎます。圧縮空気式のユニットと比較して、使用電圧は約 40W です。

UV/IR センサー使用時の瞬間消火システム



UV/IR センサーは非常に高い性能を持ち、その主な特性である 2 種類の炎検知範囲を持つことから、誤作動に対して高い安全性を保証します。

レッドアイ式警報フラッシュライトはプレスが開放された時に点滅します。たとえば、アラームが発生していないとき、誤報を鳴らさないように、すべての消火装置は遅れません。

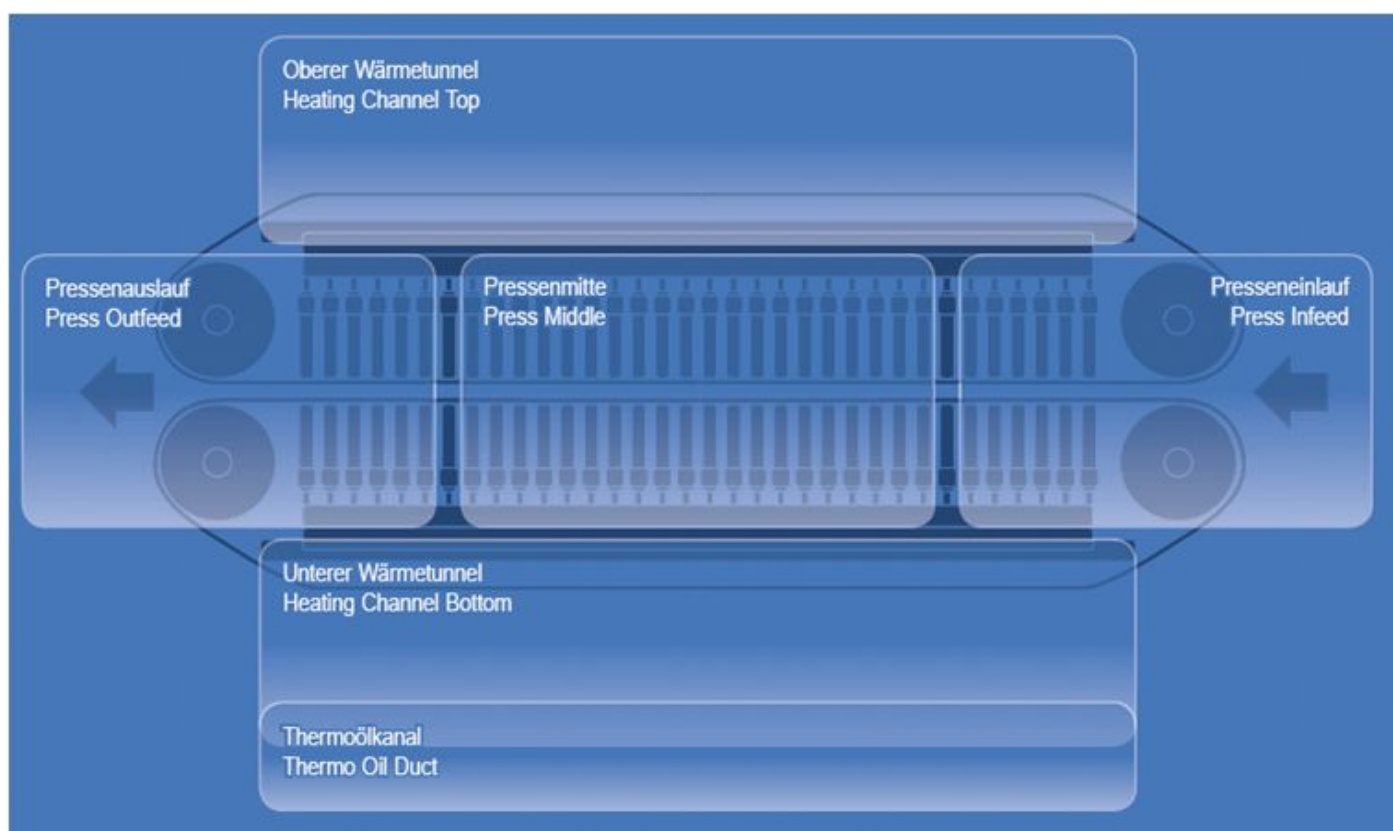
高いテクノロジーを利用した UV/IR センサーのおかげで、アラームが鳴った時の対応時間を減少できます。そして、消火装置が素早く稼働します。



検査窓や、メンテナンス用の窓を開放する時、誤作動を防止するためにセンサーは自動的に停止されます。検査窓及びメンテナンス用窓は常に監視され、リミットスイッチ等の機械的スイッチを通して中央火災警報システムに接続管理及び監視されます。

中央火災警報システムの表示言語の選択可能

最大 4 言語の選択、使用が可能で、もちろん日本語にも対応しています。その他にも、外国人エンジニアやオペレーターの為に、日本語を含む 4 言語の選択が可能となります。



遠隔操作による GreCon によるリモートサポート

操作用 PC を使用することにより、オンラインで GreCon とリンクすることが可能となっており、オンラインでのサポートを受けることが可能です。また、オペレーターはこの PC から必要な設定を行う事が可能となります。

OPC 接続

中央火災警報システムは、データインターフェースとして「"OPCword" format」へ変換することにより、PC へのデータ出力が可能となります。このデータを使用することによって火花多発箇所の時間、頻度からその分析を行い、分析結果を基にした対応を行う事が可能となります。

